

第1学年 算数科

	単 元	観 点	評 価 項 目	時 数
1 学 期	なかまづくりとかず	算数への関心・意欲・態度	観点や条件に応じて意欲的に集合をつくったり、1対1対応のよさに気づいて、数量の多少をくらべたりしようとしている。	12
		数学的な考え方	1対1対応を用いて、集合の要素の個数の表し方や比べ方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現することができる。	
		数量や図形についての技能	観点や条件に応じてものの集合をつくり、要素の個数を比較することができる。	
		数量や図形についての知識・理解	集合の要素の個数について1対1対応による比較の仕方を理解する。	
	なんばんめ	算数への関心・意欲・態度	順序を数を用いて表せることのよさに気づき、それを生活の場で活用しようとする。	2
		数学的な考え方	数を順番や順序も表すものとしてみるができる。	
		数量や図形についての技能	数を用いて順序や位置を表すことができる。	
		数量や図形についての知識・理解	数を用いると順序や位置を正確に表せることができる。	
	いくつといくつ	算数への関心・意欲・態度	1つの数を他の数を用いていろいろな組み合わせを考えて表そうとしている。	9
		数学的な考え方	10までの数について、1つの数を他の2つの数の和や差としてとらえ、言葉や半具体物などを用いて表現することができる。	
		数量や図形についての技能	10までの数の合成、分解ができる。	
		数量や図形についての知識・理解	10までの数の構成を理解する。	
	あわせていくつ ふえるといくつ	算数への関心・意欲・態度	日常の事象から合併や増加の場面を見出し、式にするよさに気づき、加法を適用しようとする。	6
		数学的な考え方	合併や増加などの場面を、どちらも加法の関係をして関連づけてみるができる。和が10以内の加法計算の仕方を1位数の構成に着目して考えたり、操作によって表現したりすることができる。	
		数量や図形についての技能	和が10以内の加法計算ができる。	
		数量や図形についての知識・理解	合併や増加の場面など、加法が用いられる場合について知り、加法の意味を理解する。	
	のこりはいくつ ちがいはいくつ	算数への関心・意欲・態度	日常の事象から残りや差の場面を見出し、式に表すよさに気づき、減法を適用しようとする。	8
		数学的な考え方	残りや差の場面をどれも減法の関係として相互に関連づけてみるができる。被減数が10以内の減法計算の仕方を1位数の構成に着目して考えたり、操作によって表現したりすることができる。	
		数量や図形についての技能	被減数が10以内の減法計算が確実にできる。	
		数量や図形についての知識・理解	残りや差の場面など、減法が用いられる場合について知り、減法の意味を理解する。	

1 学期	10よりおおきい数	算数への関心・意欲・態度	10をひとまとまりにして考えるよさに気づき、ものの個数を考えようとする。 40までのかずの構成を基に、数え方や計算の仕方などに活用しようとする。	9
		数学的な考え方	40までの数を何十と端数がいくつとみて、数え方や読み方、書き方などを考え、表現することができる。 数の構成や既習の計算を活用して、20までの数の繰り上がりや繰り下がりのない加減計算の仕方を考え、表現することができる。	
		数量や図形についての技能	40までの数について数えることができ、数を読んだり書いたりすることができる。 数の構成や既習の計算を活用して、20までの数の繰り上がりや繰り下がりのない加減計算ができる。	
		数量や図形についての知識・理解	40までの数について、数の読み方や書き方、数の構成や大小などを理解する。 20までの数の構成を、加法や減法の式に表せることを理解する。	
	なんじなんじはん	算数への関心・意欲・態度	時刻を読み取り、日常生活に生かそうとする。	1
		数学的な考え方	短針と長針の関係をとらえて、それぞれの針の位置で時刻が決まることを表現することができる。	
		数量や図形についての技能	何時、何時半の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。	
		数量や図形についての知識・理解	何時、何時半の時刻の読み方を理解する。	
2 学期	どちらがながい	算数への関心・意欲・態度	身の回りにあるものの長さに関心を持ち、比較しようと工夫し、長さを数値化することのよさに気づく。	5
		数学的な考え方	身の回りにある物の長さについて、直接比較や間接比較、人位単位による測定などの方法を考えることができる。	
		数量や図形についての技能	直接比較や間接比較、任意単位による測定などの方法を考えることができる。	
		数量や図形についての知識・理解	長さについての基礎的な意味や感覚を身につけ、比較や任意単位による測定の方法を理解する。	
	3つのかずのけいさん	算数への関心・意欲・態度	3つの数の加減計算の場面を1つの式に表すことのよさに気づく。	4
		数学的な考え方	2つの数の加法や減法を基に、3つの数の計算の仕方を考え、表現することができる。	
		数量や図形についての技能	3つの数の加減計算の場面を1つの式に表し、その計算ができる。	
		数量や図形についての知識・理解	2つの数の加減計算を基に、3つの数の加減計算ができることを理解する。	

2 学 期	たしざん	算数への関心・意欲・態度	既習の加減計算や構成を基に、1位数どうしの繰り上がりのある加減計算の仕方を考えようとしている。	13
		数学的な考え方	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を考え、操作や言葉などを用いて表現したり工夫したりすることができる。	
		技能	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が確実にできる。	
		知識・理解	10のまとまりに着目することで、繰り上がりのある加法計算ができる。	
	どちらがおおい	算数への関心・意欲・態度	身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心を持ち、比較の方法を工夫しようとし、体積を数値化することのよさに気づく。	4
		数学的な考え方	身の回りにある入れ物に入る水の体積について、直接比較や間接比較、任意単位による測定などの方法を考えることができる。	
		数量や図形についての技能	直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、体積を比べることができる。	
		数量や図形についての知識・理解	体積についての基礎的な意味や感覚を身につけ、保存性、比較の方法や任意単位による方法を理解する。	
	かたちあそび	算数への関心・意欲・態度	身の回りにあるものの形について、観察や構成・分解したり、形の特徴や機能をとらえたりしようとする。	5
		数学的な考え方	身の回りにあるものの形について、形以外の属性を捨象して形を認めたり、立体の面の形に着目したりして、形の特徴や機能をとらえることができる。	
		数量や図形についての技能	身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能をとらえ、分類することができる。	
		数量や図形についての知識・理解	身の回りにあるものの形の観察などを通して、基本的な立体図形の特徴や機能をとらえ、図形についての豊かな感覚を持つ。	
	ひきざん	算数への関心・意欲・態度	既習の減法計算や数の構成を基に、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考えようとしている。	13
		数学的な考え方	11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考え、操作や言葉などを用いて表現工夫したりすることができる。	
		数量や図形についての技能	11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算が確実にできる。	
		数量や図形についての知識・理解	10のまとまりに着目することで、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算ができることを理解する。	
どんなけいさんになるのかな	算数への関心・意欲・態度	既習を活用して、どんな式で解決すればよいか考えようとしている。	2	
	数学的な考え方			

		数量や図形についての技能	適切な立式をして、問題を解決することができる。	
		数量や図形についての知識・理解		
2 学期	どちらがひろい	算数への関心・意欲・態度	身の回りにあるものの面積に興味をもち、比較の方法を工夫しようとする。	2
		数学的な考え方	面積をますのいくつかの大きさとしてとらえ、数で表現することができる。	
		数量や図形についての技能	直接比較やますの数によって、面積を比べることができる。	
		数量や図形についての知識・理解	面積についての基礎的な概念や量の大きさの感覚を身につける。	
	けいさんピラミッド	算数への関心・意欲・態度	計算ピラミッドに関心を持ち、自分でいろいろな問題を作ろうとしている。	2
		数学的な考え方	数を2つの数の和や差としてとらえ、計算ピラミッドの解決の仕方を考えている。	
		数量や図形についての技能		
		数量や図形についての知識・理解		
3 学期	おおきい数	算数への関心・意欲・態度	10ずつまとめて数えることのよさや十進法位取り記数法のよさに気づき、ものの個数を数えたり表したりしようとする。2位数の構成を基に、数の見方や計算の仕方などに活用しようとしている。	18
		数学的な考え方	既習の数の表し方の仕組みを基に、2位数の数え方や読み方、書き方などを考え、表現することができる。10を単位とする見方や数の構成、既習の計算を活用して、簡単な場合の2位数の加減計算の仕方を考え、表現することができる。	
		数量や図形についての技能	2位数や簡単な3位数について、個数を数えたり、数を読んだり書いたりすることができる。簡単な場合の2位数の加減計算ができる。	
		数量や図形についての知識・理解	2位数や簡単な3位数について、数の読み方や書き方、数の構成や大小などを理解する。 ・2位数の数の構成を、加法や減法の式に表せることを理解する。	

	なんじなんぷん	算数への関心・意欲・態度	時刻を読み取り、日常生活に生かそうとする。	3	
		数学的な考え方	時計盤の目盛りは、5とびであることを用いて、時刻の読み方を工夫して考えることができる。		
		数量や図形についての技能	何時何分の時刻を読んだり、時計に表したりすることができる。		
		数量や図形についての知識・理解	何時何分の時刻の読み方を理解する。		
	ビルをつくらう	算数への関心・意欲・態度		1	
		数学的な考え方	いろいろな形の長方形のビルをつくることを通して、12の乗法・除法的な構成を考え、式や言葉を表現している。		
		数量や図形についての技能			
		数量や図形についての知識・理解			
3 学 期	ずをつかってかんがえよう	算数への関心・意欲・態度	順序数や異種の数量を含む加減の場合、求大や求小の場面を図に表すことによさに気づき、図を用いて解決しようとする。	7	
		数学的な考え方	順序数や異種の数量を含む加減の場合、求大や求小の場面を図に表し、問題の構造をとらえて考えることができる。		
		数量や図形についての技能	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を式に表し、解決することができる。		
		数量や図形についての知識・理解	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面の問題解決を通して、加減の意味を拡張して理解する。		
	かたちづくり	算数への関心・意欲・態度	身の回りにあるものの形に関心を持ち、色板や棒を並べて、いろいろな形を作ろうとする。	6	
		数学的な考え方	色板などをずらしたり回したり裏返したりすることを通して、いろいろな形を構成・分解することを考えることができる。		
		数量や図形についての技能	色板や棒を並べて、いろいろなものの形を作ることができる。		
		数量や図形についての知識・理解	身の回りにあるものの形の特徴をとらえることを通して、中空のものと同じように見られることを理解する。		
		ばしよをあらわそう	算数への関心・意欲・態度		1
			数学的な考え方		
			数量や図形についての技能	数を上下や左右の言葉を組み合わせて用いて、位置を正確に表すことができる。	
			数量や図形についての知識・理解		
	1ねんのふくしゅう	算数への関心・意欲・態度		3	
		数学的な考え方			
		数量や図形についての技能	既習内容を適切に用いて、問題を解決することができる。		

